

獅子の霊巖からの夕景と夜景

「獅子の霊巖」からの眺めはいつ見ても訪れる人を魅了するが、西向きのため、日没時の眺めは特に印象的である。日本の「夕陽百選」にも選ばれている。

毎年5月から9月中旬にかけて、瀬戸内海に沈む夕日が、海と空をオレンジや黄色に染め上げる。尾根から見下ろすと、女木島や男木島が夕日に浮かび上がり、その奥にはアートの島として有名な直島が見える。

日が暮れると、高松の灯りと広大な黒い海のコントラストが美しい。高松と瀬戸内海の島々を行き来するフェリーは、まるで小さな灯籠のように風景の中を行き交っている。